

月 2020 №993

特集面

きっと、もっと、きたもとが好きになる 旬な話題をお届け!



[令和元年度 北本市決算報告]

正しく プレー では 医療機関受診フローチャート

次のような症状がある人は、下記のフローチャートに従って医療機関を受診してください。

- 「息苦しさ」、「強いだるさ」、「高熱 | 等の強い症状がある
- ●重症化しやすい人(高齢者、妊娠中の人、持病がある人、治療中の人)で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある
- ●上記以外で、発熱や咳など風邪の症状が続いている

かかりつけ医がある人等

相談する医療機関に迷う人 かかりつけ医がない人等

かかりつけ医、 近くの医療機関へ **電話連絡**

電話先で対応 できない場合 帰国者・接触者相談センターへ連絡 (名称が変わる可能性があります)

本 048-762-8026 電話での相談が難しい人は

FAX 048-816-5801

(月~土曜日 9:20~16:40)

かかりつけ医、 受診近くの医療機関で 受診

紹介された 医療機関で

受診

医師が検査の必要ありと判断した場合

かかりつけ医、 近くの医療機関で **PCR検査等**

結果:30分後~翌日以降に判明

PCR検査センター等で

PCR検査

結果:翌日以降に判明

紹介された医療機関で

PCR検査等

結果:30分後~翌日以降に判明

●いずれも検査費用は無料 (初診料等、検査以外の費用はかかります)

陽性だったら

受診からPCR検査等まで行える医療機関が増えています

保健所の指示に従う(入院・ホテルでの療養・在宅療養)

陰性だったら

自宅で症状がなくなるまで安静に ※症状が良くならない場合は、診療を受けた病院に相談

※10月1日時点の情報です。今後変更になった場合は広報きたもとの 折り込みチラシ、市ホームページ等でお知らせします。

担当者の願い

互いに見守りあえる北本へ

新型コロナウイルス感染症は、専門家でも わからないことが多くあり、市民の皆さんから 様々な不安の声をいただきました。ですが、 その中には、残念ながら感染した人への心な い声も含まれていました。 不安が強くなると、差別や偏見につながりかねません。不安になりすぎないために現時点の事実と対処法を知ってほしいと思い、この特集を企画しました。

しばらく続くと言われているウィズコロナの 期間、市民同士がお互いに監視するのでは なく、見守りあえる北本になれることを願って います。 特集1

新型コロナで不安に なりすぎないために

正く恐れる

新型コロナウイルスについて、自分が信じている情報が本当に正しいのかわからない――多くの人がこのように不安に思っているのではないでしょうか。ここでは、市でわかった事実や、新型コロナウイルスに感染した時の受診の流れについてご紹介します。過剰に不安にならず、「新型コロナを正しく恐れる」ことについて一緒に考えてみませんか? ■健康づくり課保健予防担当(☎594-5544)

正しく知る 新型コロナの3つの事実

1

無症状の人や症状が出る前の人からも感染する

新型コロナウイルスは、症状が出る前の人や無症状の人からも感染するとされています。したがって、普段から人と人との距離をとること(ソーシャルディスタンス)、外出の際のマスク着用、咳エチケット、石け

んによる手洗い、アルコールによる手指消毒、換気といった一般的な感染症対策や、十分な睡眠をとる等の健康管理が効果的です。

2

北本市では感染経路がわかっている人が多い

いつ、どこで、新型コロナウイルスに感染してしまうか常に不安に 感じている人が多いと思います。

北本市の陽性者の傾向は、自ら体調不良で受診した人より、身近に陽性者が判明し保健所から検査を勧告された人の割合が多い状況です。このことは感染経路が特定されていると言え、その結果、不特定多数に感染が続く状況を食い止められていると考えられます。

不明約12% 市内感染者の 感染経路 (7/30~10/1)

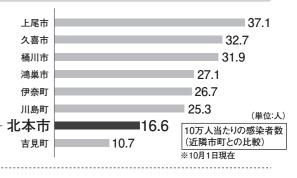


北本市の感染者は近隣市町と比べて少ない

北本市の、人口10万人あたりの感染者数は近隣と比較しても 少なく、県内では63市町村中7番目に少ない状況です。

様々な要因が考えられますが、市民の皆さんの感染予防対策 が効果を上げているとみられます。

> 県内**63**市町村中 **7**番目に少ない!



体調が悪くなってしまったら…

これまで、「体調不良になってもどこに相談すればいいかわからない」「PCR検査を受けられる条件が厳しい」という声が報道されてきました。現在では、かかりつけ医のような身近な医療機関でPCR検査等を実施する体制が整備されつつあります。

体調が悪くなってしまった場合は、左のページを参考に医療機 関を受診してください。

リスクは誰にでも 差別や偏見を持たないで

新型コロナウイルスの感染リスクをゼロにすることはできません。感染してしまった人が悪いわけではありません。差別や偏見、詮索は絶対にやめましょう。